

## 会 議 録

会議名称	令和5年度第2回大空町社会教育委員会議	
開催日時	令和5年8月28日(月)	19時00分から 20時30分まで
開催場所	女満別ゲートボールセンター IT ルーム	
出席者の氏名	(委員) ※敬称略 大井 徹也、大西 篤、村上 守、森 敦、飛澤 浩幸、 大辻 雄介、豊島 孝一、植松あゆみ、鈴木 智子、中村 貴子、 大槻 晶子、岩原 基之、原本 直也、竹内 大輔 (欠席委員) 河崎 琢哉、開口 和樹 (教育委員会) 村山参事 歌丸主幹 河西主査 阿部主査 片山主事	
傍聴者の数	—	
会議資料の名称	○令和5年度第2回大空町社会教育委員会議 議案 ○別紙1 大空町民の活動・学習に関するアンケート調査結果報告書 ○別紙2 第2次大空町社会教育中期計画の策定に向けて ○別紙3 令和5年度社会教育委員活動について ○別紙4 第2次社会教育中期計画策定スケジュール ○別紙5 令和5年度第1回社会教育委員会議グループワーク記録 ○別紙6 社会教育施設(研修会館等)に関する施設整備について ○令和4年度社会教育委員会議「大空町の地域課題」個人ワーク記録	
審議内容及び結果	○委員長挨拶 4月に開催した第1回会議に引き続き、今回が今年度2回目の会議となる。同じ会場で先刻まで教育推進計画策定委員会を開催していたため、これまでより30分遅い会議開始とした。引き続きの参加となる委員についてはお疲れのところ恐縮だが、スムーズな議事進行にご協力いただきたい。	

○議案第1号 大空町民の活動・学習に関する調査 アンケート調査結果報告・考察

・事務局より別紙1を基に一部抜粋し説明。

(質疑)

植松副委員長：問8の集計結果(P25)を見ると、「何もしたくない」が42%を占めている。約半数がこのように感じているということは残念だ。

大井 委員長：コロナ禍と高齢化の影響もあるのではないか。

歌丸主幹：P2にある回答者の年齢を見ると、70歳以上が36%を占めている。また、回答者では女性の割合が多い。その影響もある。

○議案第2号 大空町社会教育中期計画「第4章 基本計画」に基づくふりかえり

・事務局より別紙2を基に説明。意見あれば9月29日まで受け付ける。

→ 質疑等なし

○その他

① 令和5年度社会教育委員活動について

・歌丸主幹が別紙3を基に説明。

・7月13日～14日に開催された第43回北海道市町村社会教育委員長等研修会の内容について、植松副委員長から説明。

② 第2次社会教育中期計画策定スケジュール

・歌丸主幹が別紙4を基に説明。

③ グループワーク

別紙資料5に記載したグループワークの概要の中から一つを選び、以下の内容について4グループに分かれてグループワークを行った。

・現行の「大空町社会教育中期計画『第4章 基本計画』」の中で、当てはまるとすればどのカテゴリーになるのか？

・または、新規でカテゴリーを作る必要があるのか？

・作るとすれば、どんなカテゴリーか？

④ 社会教育施設（件数会館等）に関する施設整備について

村山参事が別紙6を基に説明。

(質疑)

原本委員：施設の整理統合について、現時点ではどう考えているのか？

村山参事：町民の皆さんの意見を踏まえて決定していくことになる。女満別と東藻琴それぞれに同一施設がある場合は、統合が必要。ゲートボールセンターについては、新しく作る予定はない旨を町長がふれあいトークで表明している。

原本委員：施設の統合については、必ず反対意見が出る。思い切って、女満別と東藻琴の垣根を取り払う必要がある。

村山参事：これからの時代は、単独の機能しか無い施設ではなく、様々な機能を併せ持つ施設を作っていく必要がある。

大辻委員：ここでいう施設整備は、女満別研修会館を想定しているようである。ほかの施設には、必ずしも当てはまらないものもある。

村山参事：そのとおり。例えば郷土資料館は複数施設に分散して展示しているが、いずれは一つの施設にまとめて展示することが望ましい。それを研修会館の新施設におくか、あるいは他の場所に置くかは、今後検討が必要になる。

(午後8時30分終了)